



Interactive Training in Communication-Japan

No. **3**

Volume **43**
July 2025

目次

Table of Contents

今期のテーマ	1	2024-2025 Theme
ITC-J 会長メッセージ	2	ITC-J President Message
役員会 年次報告	3	Annual Report
委員会報告	4~7	Committees Reports
年次大会	8	Annual Conference
会則修正案審議結果		Deliberation on Bylaws Amendments
開会式	9	Opening session
全体講演	10	Prenary Lecture
教育セッション	11~13	Education Sessions
スピーチコンテスト	14~15	Speech Contest
年次大会特集	16~19	Annual Conference
年次大会閉会式	20	Annual Conference Closing session
第44期役員・指名委員	21	The 44 th Board & Nominating Committee Members
クラブ記念例会・特別開催会合	22~23	Club Anniversary & Special Meetings
追悼文	24	Memorial Messages
ITC-J 宣誓 声明文 編集後記		ITC-J Pledge & Mission Statement Editor's Note

ITC-J 第43期 テーマ
2024-2025 ITC-J Theme



原点 継承 前進
Origin, Inheritance and Progress



ITC-J 第43期 会長メッセージ



ITC-J 第43期会長 松山 喜代子

ITC-Jの将来を考え、3つの目標と、4つの活動をご提示し、そして恒例の年次大会開催に向けて、最善を尽くしたいという思いで活動して参りました。できるだけ妥協しない、出来るだけ良いものという思いがありました。1年間を通じて、会員の皆様、関係者の皆様のお力添えを十分に頂きました。

【ITC-J 第43期目標】 期首に3つの目標を掲げました。

1. ITC-Jの原点を守り、大切に継承し次世代に繋ぎ、そして前進する。それが私たちの責務である。
2. ITC-J 声明文に基づいて社会に貢献することにある。必要とされる ITC-Jを目指す。
3. 将来的には、世界の方々と手を繋ぐことを望む。元国際の有志も含め勉強会を行う。

【今期の活動】

1. ITC-J 会員委員会が主となり、各カウンスルが責任をもって「カルチャーセミナー」を実施した。開催したカウンスル、出席された会員にとり、学びと、大きな前進がありました。
2. 「新しい ITC-J ウェブサイト」を開設した。
ウェブサイト委員会の利便性、今後の事を考え、前期のものは大切に引継ぎ、今期から新たにしました。
3. 特別委員会 未来プロジェクト委員会設立
 - ① ITC-Jの未来を考え〈オンラインクラブ〉設立を目指し、〈オンラインサロン〉を開催し既存のクラブに入会がありました。
 - ② 〈2025年日本国際博覧会〉ITC-Jとしてフォーラムを行うことが決定しました。
4. 特別委員会 リーダー育成委員会設立
Better Communication に基づく、「インストラクター養成講座」を開催しました。
ITC-Jにおける資格を取得し社会貢献を行う。目的をもって学び、社会へ発信する。それが組織の教育と継続に繋がるというコンセプトでスタートしました。新たな養成講座は定員をオーバーする状況で、真剣にそして時には笑顔満載で学びました。

ITC-J 第43期年次大会開催

ホテル阪急インターナショナルに於いて開催しました。年次大会は、多くの会員とゲストの皆様がご参加くださいました。皆様の多大なるご尽力と熱意のお陰で、年次大会を無事終えることができました。2025年日本国際博覧会副会長・理事のウズビ・サコ様の全体講演「多様な価値観を認めあう共創社会の実現にあなたができること」は、心に残るものでした。年次大会では、共に学び、共に集い、そして参加していただきました方々の貴重な交流の場として、笑顔の輪が大きく広がっているのを感じ嬉しく思いました。



期の途中で、名前のローマ字表記について、大会冊子、Roster において、現在の公式文書に準じた表記に変更しました。ご協力ありがとうございました。多くの委員会に若い会員が入りました。次世代に繋ぐステップになりました。ITC-Jが、益々発展することを、心より願っております。

ITC-J 第43期 役員会年次報告

(2024年8月1日～2025年7月31日)

ITC-J 第43期役員会は、今期テーマ「原点 継承 前進」のもと以下の活動を行った。

1. クラブ数と会員の状況昨年8月1日に8カウンスル55クラブ627名でスタートした。今年6月30日現在、8カウンスル55クラブ、会員数628名、新入会員14名、退会者13名である。(重複会員29名含まず)

2. 研修会報告

- (1) カウンスル会長会は、2024年12月3日 Zoomにて行った。
- (2) カウンスル運営研修会(CMT)は、2025年7月1日ホテル阪急インターナショナルにおいて7部門(選出役員、議会議法規役員、スピーチコンテスト委員長)で開催される。

3. 主たる活動

- (1) 役員会は任命役員(議会議法規役員、編集者、JCLO)も出席し、現在までに16回開催した。
- (2) 役員は、8カウンスルの第1回会合に公式訪問を行い、ITC-Jの今年度方針を伝えた。
- (3) ITC-J会報は、年3回発行とし、全会員に第1号、第2号を配布した。第3号は7月末発行の予定である。
- (4) ITC-J通信は毎月1日に発行し、6月までに11回発行した。次回は7月18日に発行予定である。
- (5) クラブ・カウンスルの教育の充実のためにプログラム・教育委員会が「サポートビューロー」を開設し、6クラブが活用した。
- (6) 交流と社会貢献を目的とし、会員委員会がカルチャーセミナーを5回開催した。
- (7) ウェブサイト委員会が、ITC-Jの新しいウェブサイトを開設し、公開した。
- (8) 「オンラインクラブ」の設立を目指し、未来プロジェクト委員会が「オンラインサロン」を2回開催した。
- (9) リーダー育成委員会が「Newインストラクター養成講座」を6回開講した。Zoomの使い方を学び、会員のコミュニケーション力をレベルアップし、地域社会などで活躍できるインストラクターを養成することに務めた。
- (10) クラブ・カウンスル主催の小・中・高校生スピーチコンテストを後援している。
- (11) ITC-J会則・細則の修正案を会則・決議委員会と検討し、各クラブへ提出した。
- (12) ITC-Jの広報活動および社会貢献の一環として、2025日本国際博覧会でフォーラムを開催するためにEXPO 2025実行委員会を立ち上げた。

4. ITC-J 第43期年次大会は、2025年6月30日、7月1日の二日間の日程で、大会テーマ「充実 笑顔」のもとホテル阪急インターナショナルにて開催中である。

以上

ITC-J 第43期書記 竹内ひとみ

2025年6月30日採択

委員会からのメッセージ

プログラム・教育委員会

委員長 黒柳 美紀子

年次大会を終えて

大会が無事終わりました。今はその余韻に浸りながら心地よい疲労感を味わっています。講演と教育セッションの企画そして大会冊子発行、委員会はこれらのミッションのために活動して参りました。セッションでは異なる分野から5人の講師を迎え、5人の委員が各セッションを担当して周到な準備を重ねました。お陰さまで講演もどのセッションも好評を頂き心から嬉しく思っています。多くの皆様のご協力にも感謝の念でいっぱいです。

大会後には講師からいくつか嬉しいメールを頂戴しました。「行き届いた会であると感じた」「皆様に元気をもらった」「丁寧な対応だった」等々。奥様がゲスト参加された講師は「家内はITC-Jの活動や会員の熱意に感銘を受けたようだ」と。近い将来入会のニュースがあるかも知れません。良いご縁が生まれました。



《一度だけの対面委員会》

会員委員会

委員長 佐伯 省吾

第43期は、8カウンスル、55クラブ、627名でスタートした。6月30日現在入会者14名退会者13名合計628名（重複会員29名含まず）。「会員増強・維持」を目標に掲げ各クラブ最低1名のクラブ入会とクラブ例会のお誘いを掲げスタートした。カウンスル No.3 川西クラブ主催「三世代スピーチフェスティバル」を開催し、小学生・中学生・大人が熱気あふれるスピーチを披露した。

カウンスル No.3 主催「高校生スピーチコンテスト」は、地域社会への活発な ITC-J 活動を行っている。今期は Zoom によるカルチャーセミナーをカウンスル持ち回りで6回開催した。延べ421名の参加者で日本各地からの ITC-Jらしい学びで今後の展望 ITC-Jの方向性が見えてきた思いである。

※大阪・関西万博のウーマンズ パビリオンにおいて、9月14日、ITC-Jが「ITC-Jフォーラム」を開催する。小学生・中学生・高校生・大人が「いのち輝く未来」についてスピーチを行う。最高の名誉とこれからの広報活動に繋げて行く活動に是非ご参加ください。

会則・決議委員会

委員長 葛谷 美紀子

ITC-J 役員会と所属クラブに提出しました修正案1件は ITC-J 第43期年次大会で審議され、修正案1に対しての福山クラブ提出の修正動議が過半数にて可決されました。

修正された修正案1「第1条 1.2. 所在地 当組織の所在地は当該期の ITC-J 会長の住所とする。」を挿入する は2/3の賛成により可決されました。

ITC-J 会則11.2.3.e.及び11.2.3.f.に則り、会則・決議委員会は2025版会則を編集いたしました。

委員会からのメッセージ

教育資料委員会

委員長 鳥谷 まゆみ

教育資料の利用の有無と要望についてのアンケートを取りました。42クラブから回答が寄せられ、そのうち95%のクラブが利用していました。要望を踏まえ、「一文字お手紙」、「ワードアソシエーションゲーム」の2点の資料と「アサーショントレーニング」を編集した資料を作成しました。資料は、ITC-J 通信 No.12 に添付で掲載し、ホームページにも掲載しました。カウンスル、クラブでの活用を希望します。

未来プロジェクト委員会

委員長 中井 恵侑子

① 会員増強の活動

オンラインクラブ設立のために「オンラインサロン」を2回開催した。ゲストは会員の紹介者とし ITC-J を知って頂くためにわかりやすく丁寧に説明した。ゲスト参加型の構成は「自己紹介」「今日の話題」等、ITC-J の学びに興味をもって参加された。何事も試すという事は勇気が要るが先ず ITC-J を知ってもらいコミュニケーションを積み重ねる事が大切だと感じた。

② 社会貢献・広報活動

万博会場でのフォーラム開催が実現する。50年に一度の万博への参加は「いのち輝く未来社会」について様々な世代の人が発表し共に考える機会となる事を望む。ITC-J がフォーラムを行うことにより広報活動ができ、社会貢献の一環となる。

リーダー育成委員会

委員長 小菅 あけみ

インストラクター養成のために「New インストラクター養成講座」を Zoom で開催しました。10月から6 課題と補習講座、Zoom の取扱い番外編講座など合わせて19回開催し、延べ846名の参加者がありました。講座参加登録者124名中、6 課題の全課程を受講した74名は ITC-J からの「修了証書」を取得しました。

この講座で使った資料をウェブサイトに教育資料として掲載しましたので、活用してください。



ITC-J2025 日本国際博覧会フォーラム



サブタイトル：未来へ繋ぐ言葉の力



ITC-J2025 日本国際博覧会フォーラム実行委員会 ITC-J EXPO2025 実行委員会 (略称)

実行委員長・理事 松山喜代子

「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」は、1970年の「日本万国博覧会（大阪万博）」以来55年ぶりに大阪で開催された万博です。一人ひとりの可能性が最大限に発揮できるような未来社会を創ることを目指して「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げています。万博の会場は、関係者や来場者の熱気が感じられ、連日大変な賑わいです。

期首より、ITC-Jとして、万博に関わることができれば望ましいと考えていましたが試行錯誤の結果、「日本館」の隣にある「ウーマンズ パビリオン」において、ITC-Jとしてフォーラムを開催する機会を頂きました。

「ウーマンズ パビリオン」は、内閣府、経済産業省、カルティエ、万博協会が共同で出展するパビリオンです。「When women thrive, humanity thrives ～ともに生き、ともに輝く未来へ～」をコンセプトに、女性たちの体験や視点を通じ、能力が発揮できる世界を創ることを目指しています。私たちもそのことを念頭において、フォーラムを進めて参りたいと思います。

非営利の教育団体である ITC-J の主催でイベントが開催できることを大変光栄に思います。この事業は、ITC-J 会員が日ごろ学んだ成果を生かし、フォーラム形式で実施します。

ITC-J EXPO2025 実行委員会事業

【目的・方針】

ITC-J の理念を再認識し、ITC-J の会員として誇りをもって万博のテーマに沿ったフォーラムを行う。

ITC-J がフォーラムを行うことにより、共に考え、共に輝く共生社会を築く一助となる、社会貢献の一環となると考える。

【概要】

1. 内容：万博会場のパビリオンにおいて、フォーラムを3部構成で実施する。
第1部：スピーチフェスティバル
第2部：基調講演
第3部：パネルフォーラム
2. 日程：9月14日（日）
3. 場所：ウーマンズ パビリオン in collaboration with Cartier 【日本館の隣 東ゲート】
4. 名称：「ITC-J2025日本国際博覧会フォーラム」
サブタイトル：「未来へ繋ぐ言葉の力」
5. タイムテーブル
12：00～13：00 受付
13：00 オープニング
13：20～14：20 スピーチフェスティバル：テーマ「いのち輝く未来」
小・中・高校生（広島県 兵庫県 大阪府）、大人（会員）1名によるスピーチ、1人5分以内とする。
14：20～14：50 基調講演 講師 小嶋隆文氏
＜講師プロフィール＞
JCI OSAKA（大阪青年会議所）2019年度理事長
JCI（国際青年会議所）2021年度 世界会頭
勝ち運の寺 勝尾寺 執事長
14：50～15：30 パネルフォーラム

ITC-Jとして日本国際博覧会のパビリオンに初めて参画します。

皆様の力を出し合って、前進いたしましょう。

ITC-J EXPO2025 実行委員会

実行委員長・理事：松山喜代子

実行委員・理事：木村 貞基 中井恵俐子 佐伯 省吾 竹内ひとみ

実行委員：後藤由美子 笠原 典子 津田 由貴 立花 典子 山崎 直美
伊山 泉 喜田 秀美 平重 映子 大田 紀子 大津 裕太
下手 泰子 末廣 佳香 山口久美子

書記：竹内ひとみ（兼任）

会計：伊山 泉 喜田 秀美（兼任）



【実行委員会設立の経緯】

この事業は、「ITC-J第43期」の事業として新たに立ち上げた「ITC-J EXPO2025実行委員会（略称）」が主催します。開催日が9月14日となり次年度にわたるため、第43期役員会で検討した結果、独立した実行委員会を立ち上げました。第43期のメンバーが中心となって活動を行います。皆様のご協力とご協賛により運営いたします。

ITC-J 第43期年次大会

大会テーマ 充実 笑顔 Fulfillments and Smail

2025年6月30日(月)・7月1日(火) ホテル阪急インターナショナル

第1日

派遣員説明会

開 会 式

議 事 会 議

会長基調演説
登録クラブ 55
クラブ派遣員登録数 55
大会規則、大会プログラム採択
次期役員選挙
次期指名委員選挙
会則修正案審議

記 念 講 演

スピーチコンテスト 英語の部

晩 餐 会

表彰式
役員就任式
エンターテインメント

第2日

議 事 会 議

登録クラブ 55
クラブ派遣員登録数 51
役員・任命役員・委員会報告
「ITC-J 日本国際博覧会フォーラム」について

教育セッション A、B、C、D、E

スピーチコンテスト 日本語の部

閉 会 式

次回大会案内
会長退任挨拶・閉会宣言



ITC-J 会則修正案審議結果報告

会則・決議委員長 葛谷美紀子

ITC-J 第43期年次大会では修正案1件が審議されました。審議結果は、下記のとおりです。

修正案1

福山クラブ提出の修正動議が過半数で可決
修正された修正案1は 2/3で可決 (ただちに有効)
修正箇所 ITC-J 会則 第1条 1.2. 所在地 を新たに挿入

修正後の表記

1.2. 所在地 当組織の所在地は当該期の ITC-J 会長の住所とする。

ITC-J 第43期 年次大会開会式



基調演説 松山喜代子会長



ITC-J 宣誓
西畠 敏子



歓迎挨拶
大原 慶子



会員代表挨拶
田島 久子



役員会年次報告
竹内ひとみ



インスピレーション
遠藤美与子



議事会議



カウンスル No.1



カウンスル No.2



カウンスル No.3



カウンスル No.6



カウンスル No.4



カウンスル No.5



カウンスル No.7



カウンスル No.8

会長行進



会長行進 進行
笠原 典子

ITC-J 第43期年次大会 記念講演



講師 ウスビ・サコ氏

京都精華大学前学長／人間環境デザインプログラム教授
2025年日本国際博覧会協会

副会長・理事・シニアアドバイザー

演 題

多様な価値観を認め合う共創社会の実現にあなたができること ～多様性のとらえ方から考える社会～



プログラムリーダー
斉木 ゆかり (横浜クラブ)

ウスビ・サコ氏の講演は終始笑いに包まれていました。しかし、ユーモアを挟みながらも、内容は、サコ氏の鋭い観察眼で捉えたものばかりでした。お話の焦点は「多様な価値観が存在する現社会であなたは何をするのか」と問うもので、まさに氏の口癖の「なんでやねん?!」が炸裂しました。私のこの日の結論は「私以外の人は全てガイジン！」

あえて外国人とは書きません。国ではなく個人なので。

異なる文化を持つ人から学ぶことで自分も進化する、私はサコ氏の講演を聞いて少し進化したと思いました。



教育セッション

A 「型」を守り美しく生きる

プログラムリーダー 後藤 英子（姫路クラブ）



講師は能の世界に煌めく彗星のごとく現れた人物、能面師北沢美白様でした。能面の説明から始まり、能面に出会い、北沢元白氏に師事し元白氏の実子ではないのに北沢流宗家を襲名されたこと、修行の大変さや挑戦されている新たな試みなどをお話し下さいました。会員は熱心に聞き入り、北沢様のお人柄に魅了されました。

北沢様から「帰宅直後から講演の感想や問い合わせ、講演依頼のメール、メッセージがたくさん届き、対応に追われています」とのメールが届きました。



それにしても ITC-J の皆様の行動力はすごい！参加された奥様も ITC-J 会員のようなスキルを身につけたいと感じられたようで、今回に限らず引き続き交流を持てたら、彼女のプラスになると考えています」とのことです。会員と講師の心が通じ合った素晴らしい講演でした。



B すべての女たちへ 与謝野晶子からのメッセージ

プログラムリーダー 清水 京子（千種クラブ）



与謝野晶子の研究者である古澤夕起子先生の今回の講演は、明治に生まれた雑誌という新しいメディアを通してメッセージを発信したことに焦点をあてたものでした。藤島武二など有名な画家によって表紙や挿絵が描かれた雑誌そのものが美術品といえるもので、スライドだけではなく実物も見せていただきました。

人気を集めた美しい雑誌に晶子は歌の他、詩や評論、童話も発表したことを知る機会となりました。その中で「良妻賢母を作る前に立派な娘を作れ、立派な娘を作る前に立派な人を作れ」という名言は、当時の女たちだけではなく、現代のすべての人に通じるメッセージとして遅く生きた晶子へのオマージュと共に心に残るものとなりました。



教育セッション

C

“What's better?” “What's next?” 「一石三鳥に」 ～英語を使って架け橋に～

プログラムリーダー 田岡批呂子（無所属）



ランデル・洋子様を招いての教育セッションはインバウンド観光客の通訳をするカリスマガイド。業界のビジネスモデルと言われ、一方でジャズヴォーカリストとして活躍するだけあって、自信に満ちた美しい立ち姿と、聞き心地の良い優しいお声で講演が始まりました。

一人の英語好きの女の子がフリーランス通訳として起業し、現在に至るまでを追いながら、日々、視野が広がり、知識が増え、多くの人に出会い、次々と活躍の場が広がっていったお話をされました。

会場にはこれから起業したい会員方も居られ、興味深く質問をされました。最後に前を向く夢と希望、そして人生には無駄なことは何も無いという言葉がとても印象的で、学びとエネルギーをいただきました。



D

「未来の暮らしを見に行こう」

プログラムリーダー 柴田 淑子（岡崎クラブ）



「未来の暮らしを見にいこう」というタイトルで、どのような話をし下さるのかわくわくしながら当日を迎えました。建築設計事務所の代表取締役として活躍し北大阪クラブ会員の若々しい講師が、現在開催中の「大阪・関西万博」 Society 5.0（超スマート社会）についてスクリーンに映し出された映像を参加者と共に体感しながら話を進め、講師が未来ある子供たちに住育をしていること、私たちが高齢化した時に家でいながらにして受けられる医療、各家庭での生活等想像できる話題に安心

もしました。

まだまだ講師から未来の暮らしを聴きたいと思いながら、皆様の心に未来の暮らしへの期待が膨らんだ1時間半のセッションになりました。「質問のある方は直接木村さんにメールを」という言葉で閉会としましたが、コミュニケーションの輪が広がっていくのではないかと期待しています。



教育セッション

E プレゼンテーションに楽しさを取り入れる—その方法とは

高山 敦子 (淡路・クリスタル神戸・言の葉-バイリンガル西条)
プログラムリーダー C.J. Marks (クリスタル神戸)



7月1日 5階鈴蘭の間に40名の会員が参集しました。ファシリテーターはマーガレット・サザランド ITC 元国際会長、プログラムリーダーはクリスタル神戸クラブ会員の C.J. Marks。2人の絶妙なコンビの魅力に引き込まれ、楽しい笑いが一杯のセッションでした。

タイトルは“How to Inject Fun into Presentation” 如何にしてプレゼンテーションに楽しさを取り入れるかという内容です。前回と違ってハイブリッドでの参加者は無く、目の前の会員同志がお互いの紹介のための質問タイムや電話連絡網がいかにええ加減かということで大笑いしました。ジェスチャーの大事さの教育場面で C.J. Marks が大げさな身振り手振りで注目を浴びました。来年も楽しい英語のセッションを致します。

HOW TO? INJECT FUN INTO PRESENTATIONS

Tuesday, July 1st, 40 members gathered in the Hall of Hotel Hankyu International. The Facilitator was Margaret Sutherland, past ITC International President, and the Program Leader was Crystal Kobe Club member C.J. Marks. The session was full of laughs, as we were drawn in by the charm of the two's perfect chemistry. The title was “How to Inject Fun Into Presentations”, and the content was how to incorporate fun into a presentation. Unlike last time, in the 2024 session, there were no hybrid participants. We all laughed and were entertained by the activities and events of the session. Margaret and C.J. did a fine job, and we are looking forward to another entertaining educational session next year.

ITC-J 新ウェブサイトの開き方

1. 「ITC-J 通信3.4.5」に添付された【ITC-J 新ウェブサイト会員ログイン方法】PDF 版をデスクトップに保存、それを開いて URL をクリックすればウェブサイトに入ることができます。
2. スマートフォンからは右の QR コードを読み込む



- ① 会員ログインをクリック
- ② パスワードを入力する。OK



スピーチ

スピーチコンテスト委員長 奥澤 節子

英語の部5名、日本語の部8名の説得力、共感力、個性的で楽しませるスピーチ、熱心に感動し楽しみながら聴いていた聴衆との一体感ある会場の雰囲気、空気感。素晴らしいコンテストでした。書面でのブリーフィングのみで確実に役目を遂行して下さった役割担当者の皆様の優秀さに感激。対面委員会なし、ZOOM委員会なし、メールだけの依頼でコンテストを的確に運営して下さった委員会の皆様の対応力に拍手喝采！スピーチコンテストに協力して下さった皆様に感謝！感謝です。



英語の部

PL 小松利香子
(No.3 クリスタル神戸)



英語の部 優勝 ウィルソン恵

カウンスル No.3 芦屋クラブ

Subject : Future
Title : What should Humans
Do in the Age of AI ?

見た目がネイティブ風だからか、「英語は小さい頃から話せたんでしょ？」とよく言われますが、実は幼少期は日本語しか話せませんでした。英語で7分間のスピーチを丸暗記するのは今回が初めての挑戦でした。スピーチの練習は、育児や仕事の合間にしました。記憶することは大変でしたが、終わった後の達成感は何にも代えがたいものでした。多くの方々にお聴きいただき、晩餐会でお会いした皆さまから祝福のお言葉を頂戴し、とても光栄でした。

芦屋クラブの例会の教育・プログラムでは、スピーチの基礎を学び良い練習の場になりました。そして会員の皆様には、日頃から改善点をご指導いただきました。

これからも新たな挑戦をしていきたいと思っています。



出場者の皆様

英語の部 入賞

順位	氏名・カウンスル・クラブ	Subject	Title
1位	Megumi Wilson (No.3 Ashiya)	Future	What should Human Do in the Age of AI?
2位	Yukari Saiki (No.8 Yokohama)	Happiness	What is the Opposite Word of Happiness?
3位	Hiroki Nakashima (No.6 Heian)	Youth	American Football

コンテスト



日本語の部

PL 則武 紀子
(No.5 大阪)



日本語の部 優勝

中島 千尋

カウンスル No.8 彩玉

論題：生きる

題目：友達が教えてくれたこと

スピーチ大会を終えて

このたびは、思いがけず優勝する事ができて、心から嬉しく、また感謝しております。

私のスピーチは、これまでの経験や出会いの中で得た「生きる」ことの大切さを、様々な方に伝えたいという思いから生まれました。病を通じて友達との出会いや、生き方を見つめ直した日々、その思いが皆さまに伝えたく、心をこめてスピーチをしました。

大阪会場で皆さんの笑顔や温かな拍手に、こらからの私が「生きる」事にまた一步、背中を押していただいた気がしています。人と人とのつながりを大切にしながら、このスピーチの内容を伝えることを続けていきたいと思えます。本当にありがとうございました。



出場者の皆様

日本語の部 入賞

順位	氏名・カウンスル・クラブ	論 題	題 目
1位	中 島 千 尋 (No.8 彩玉)	生きる	友達が教えてくれたこと
2位	金 子 三屋子 (No.4 福山)	会話	かくれて見えないもの
3位	羽 入 香 代 (No.3 ポート神戸)	繋ぐ	おせっかいは心を晴れにする

ITC-J 第43期 年次大会特集

晩餐会



プログラムリーダー
ウィルソン恵



晩餐会お出迎え 43期役員会

役員就任式



インストリングオフィサー
稲葉由利子



役員退任式



新役員就任式



ギャベル 引き継ぎ



44期就任役員 テーマ発表

表彰



40年継続会員表彰



最多入会・紹介者表彰



30年継続会員表彰



20年継続会員表彰



60年継続クラブ
お祝い

会場 風景



乾杯



来賓席





エンターテインメント



大会準備委員会

準備万端 ありがとうございました！



前日観光

Aコース おもしろ旅 いざ大阪へ



特注ヒョウ柄で
みんなごきげん
乾杯！！



大阪は魅力的な観光スポット！
お笑いの町として知られた大阪を満喫し、
喋って食べて大いに笑いました！

案内人：日本旅行「おもしろ旅企画 ヒラタ屋」

Bコース

京懐石「美濃吉竹茂楼」

雅な京懐石をゆったりと楽しみました。

ホテル阪急インターナショナル店 25F





松山喜代子会長
閉会宣言



クロージングソート
落合友紀子

閉会式

大会登録者数報告

月日	人数 会員	ゲスト	総数 会員+ゲスト
6月30日	309	37	346
晩餐会	243	35	278
7月1日	323	34	357
総数	341	47	388

(全体講師、教育セッション講師、エンターテイナーなど)15名



アップील 次回年次大会
「ごきげんさん」をよろしく



大好評 ITC-J 物品販売

謝 辞

ITC-J第43期年次大会は皆さまのご協力によりまして無事に、つつがなく終えることができました。これも会員の皆さまのご協力の賜物と心より感謝とお礼を申し上げます。

充実した二日間、会場は皆さまの笑顔であふれていました。年に一度、会員が集い、共に学ぶ大会の大切さと意義を改めて感じた次第です。

大会準備委員会一同で準備を整えてまいりましたが、反省点や提案などの気付きがありました。これらを来期に引継ぎ、よりスマートで効率のよい大会になります様に願ってやみません。ありがとうございました。そして、よろしく申し上げます。



第43期大会準備委員長 大原 慶子
副委員長 山崎 直美
副委員長 喜田 秀美

年次大会写真提供 田岡批呂子



ITC-J 第44期役員・任命役員・指名委員会

第44期テーマ「柔軟に進化」

役員・任命役員

会 長	小八木 利 子	(No.5 南大阪)
次 期 会 長	田 中 英 子	(No.7 鳥 取)
第一副会長	岡 島 詠 子	(No.1 錦)
第二副会長	烏 谷 まゆみ	(No.8 葦 崎)
書 記	田 島 久 子	(No.4 安 芸)
会 計	西 畠 敏 子	(No.3 淡 路)
議会法規役員	葛 谷 美紀子	(No.1 名 城)
編 集 者	鵜 山 紀 子	(No.2 甲 南)
J C L O	小 田 和 子	(No.5 大 阪)

指 名 委 員 会

委 員 長	村 山 紀 子	(No.4 岡 山)
委 員	王 久美子	(No.5 大 阪)
委 員	中 井 恵俐子	(No.3 ポート神戸)
委 員	興 梶 美 和	(No.2 御 影)
委 員	増 原 久美子	(No.1 名 城)

ITC-J 第44期 年次大会案内

大会テーマ「ごきげんさん」

《開催日》 2026年7月8日（水）・9日（木）

《会 場》 ホテル日航大阪

大会準備委員長 田中 和美 (No.5 大 阪)

大会準備副委員長 中村 朱李 (No.5 千 里)

大会準備副委員長 柴田 裕美 (No.5 千 里)



記 念 例 会

Council No. 3 しらさぎクラブ 35周年パーティー

しらさぎクラブ会長 山崎 直美

35周年を迎え、チャーター時約30名所属していた会員も今では11名になり、記念例会をするか否か会員全員で話し合った結果、今期の会長テーマ「今を大切に」の言葉通り、今できる事をしようという事で、記念例会ではなく当時の思い出話や楽しい時間を参列者の皆さんで過ごすパーティーと致しました。チャーターメンバーの江原恭子さんから思い出などを交えたスピーチをいただき当時の事もふりかえることができました。



Council No. 4 岡山あくらクラブ 35周年記念例会

岡山あくらクラブ会長 加藤 正枝

岡山あくらクラブ35周年5月21日、林原美術館に於いて35周年記念会合を開催いたしました。ITC-J次期会長小八木利子様をはじめ、私たちをお導きくださり応援くださる他クラブや元会員のみなさまがご参加くださいました。5年前の2020年、30周年の準備を進めておりました時、新型コロナウイルス感染が起こり非常事態宣言が出され、世の中が変わってしまいました。だからこそ、Face to Faceで集まる幸せや、ITC-Jで育ててきたご縁や絆の大切さを胸に、感謝を込めて開催いたしました。また、私たちはチャリティバザーの収益を昨年、今年と能登に寄付いたしました。6月18日～20日、復興を応援したいと皆で能登にまいりました。

岡山あくらクラブはこれからも自分たちにできることを行っていききたいと思っております。



Council No. 7 出雲クラブ 35周年記念例会&野外例会

出雲クラブ会長 楠 智加子

当日は、お天気にも恵まれて午前中は松江城周辺を散策し、堀川遊覧船を楽しみ、なにわ一水において35周年記念例会（2025年5月26日）を行いました。会員だけの特別な時間を思う存分語り合い、笑い合い、さらなる親睦を深める一日になりました。35年という長い年月、これまで多くの先輩方が築いてこられた数え切れない出会いや学びの瞬間に、改めて敬意を表し、これまでの感踏み出すスタートラインとしてこれからも共に学び、挑戦していきます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



特別開催会合



Council No. 7 米子クラブ 40周年記念会合

米子クラブ会長 秦野 順子

今期米子クラブは40周年を迎えました。11名の会員中チャーターメンバー5名です。記念会合は、『画竜点睛』のテーマのもと、大勢のご来賓、お客様をお迎えし、開催することができ、感激も一入でした。平安朝文学がご専門の中永廣樹先生による記念講演『美しい日本語』をはじめ、会員は自分の好きな歌詞を朗読しました。歌詞の思いを汲み取り、言葉の持つ意味、深さ、作詞家の心の揺らぎを感じながら一年をかけて練習してのご披露となりました。

私たちは今後もお互いを尊重し合い、コミュニケーション力の向上に邁進して参りたいと思っています。



Council No. 3 三世代スピーチフェスティバル

三世代スピーチフェスティバル実行委員長 西本 敬子

2025年1月12日（日）カウンスル No.3 川西クラブ主催「三世代スピーチフェスティバル」を川西市長以下多くの地域住民の方に参加いただき、川西市のアステホールにおきまして開催致しました。

子世代小中学生、親世代PTA、祖父母世代ITC-J会員と世代交流と地域との交流を目的として、これからも地域に根ざした会として継続してまいります。



第14回高校生スピーチコンテスト（日英両語）

カウンスル No.3 西畠 敏子

2025年3月28日神戸ポートピアホテルにおいて開催されました。英語の部5人、日本語の部4人の計9名が参加し、自分自身の経験や社会問題等について高校生独自の視点から感じたスピーチを堂々と熱弁されました。

これからもこのコンテストがITC-Jの社会貢献のひとつとして長く継続されることを願っています。



訃報

廣瀬 忠子さんを偲んで

阪神クラブのチャーターメンバーとして永いご在籍でした。
ITCでは、カウンスル No.1、No.2 会長。日本リージョン第9期会長を歴任され、芦屋ユネスコ協会、婦人会会長など常に組織のリーダーとして私達を導いて下さいました。
スピーチがお上手で、にこやかで、「間」の取り方のお上手なお話しぶりは、私達のお手本でした。大らかな雰囲気のお姿が今も目に浮かびます。ご冥福をお祈りいたします。

No.2 阪神クラブ第60期会長 三宮 晶子

高木 彬子さんを偲んで

カウンスル No.4 ひろしまクラブと安芸クラブの重複会員の高木彬子さんは2025年2月6日に逝去されました。前年の ITC-J 大会では40年継続会員の表彰を受け、両クラブの1月例会にも出席。前日には会員と会食されての突然のご逝去でした。常に「こんな素晴らしい会はない」と ITC-J を語り、「教える人のいないこの組織の中で、型にはまらず自分を磨くたのしくあかるく元気よく ほこり高く謙虚に・・・だから終身会員としての居場所としました。品格を磨き、人間力を高め、心の友と出会い、絆を深める。・・・生きる喜びにつながりました。」と記されています。どうか、これからもお導きくださいませ。

No.4 ひろしまクラブ会長 沖田 道子

杉山 桂子さんを偲んで

あなたの最後の3ヶ月は本当に凄かったです。合同例会で歯科衛生士というライフワークを熱く語り、突然の余命宣告後もプログラムを気にかけて、亡くなる10日前には今期のお役目のクラブ書記の USB に手紙を添えて送って下さいました。クラブ最高齢の愛すべきおばあちゃま、という見た目の下に、驚くべき素顔がありました。あなたの愛した葵クラブを見守っててください。会員数5名の極小クラブながら、私たちは元気に創立50周年を迎えます。

No.1 葵クラブ会長 石井 弘子

原 誠子さんを偲んで

その訃報は突然届きました。久しぶりにお元気な彼女にお会いできるはずだった4月例会は、期せずして思い出を語る会となりました。音楽と動物をこよなく愛した原さん。持ち物を含め、身に着けるもののどこかに、必ず「猫」の姿がありました。
例会では、歯に衣着せず、是々非々の発言で、しばしば議論の流れを整えて下さいました。常に自分を貫かれる原さんの姿を、私たちは忘れません。
共に召された愛犬のこんちゃんと、どうぞ安らかにと祈ります。

No.1 錦クラブ会長 古屋 弓子

ITC-J 宣誓

我々、インタラクティブトレーニングインコミュニケーション
ジャパンのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニ
ケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

ITC-J Pledge

We, as members of Interactive Training in Communication - Japan,
hereby pledge to improve our communication and leadership skills,
in order to achieve greater understanding throughout the world.

ITC-J 声明文

ITC-J の使命は、ITC-J の目的とするコミュニケーション技術と組織運営の技術
を習得する機会を会員に提供してリーダーシップをそなえた成熟した社会人を
養成し社会に貢献することにある。

Mission Statement of ITC-J

The mission of ITC-J is to present the members opportunities for quality
training in communication and leadership skills which are the purposes of
Interactive Training in Communication-Japan and benefit the society by
providing mature individuals.

編集後記

会報第3号は43期の委員会活動と年次大会を中心に編纂いたしました。
年次大会記事には田岡批呂子会員からたくさんのスナップ写真の提供をいただき雰囲気と
流れの感じられるページを作ることができました。43期の思い出とともにお手元に届けば
幸いです。

43期編集者 堤 其美子 編集委員 宮武 和美

